

2019 年度 前期

留学生教育・支援センター

長崎大学日本語・日本文化プログラム（JLCP）

シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅰ 会話	金 2	川崎	... 1
中級Ⅰ 作文	金 3	小谷	... 2
中級Ⅰ 読解	月 1・月 2	安田	... 3
中級Ⅰ 聴解	金 1	松尾	... 4
中級Ⅰ 漢字	木 2	渡辺	... 5
中級Ⅱ 会話	水 4	古本	... 6
中級Ⅱ 作文	水 3	茅田	... 7
中級Ⅱ 読解	木 2・木 3	松本	... 8
中級Ⅱ 聴解	金 2	小谷	... 9
中級Ⅱ 漢字	水 2	岩下	... 10
【JLCP】中級総合B	木 1	茅田	... 11
上級Ⅰ 読解	火 1・火 2	松尾	... 12
上級Ⅰ 総合	月 5・木 3	永井	... 13
上級Ⅱ 総合C	火 2・火 5	永井	... 14
上級Ⅱ 総合D	木 3・木 4	溝部	... 15
【JLCP】日本探究（文化について考える）	月 1	茅田	... 16
【JLCP】日本探究（文学で学ぶ日本文化）	火 3	中村	... 17
【JLCP】日本探究（留学生ビジネス研究）	水 2	松島	... 18
【JLCP】日本探究（日本語小論文入門）	[2Q] 火 1・木 1	松村	... 19
【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ	火 4	茅田	... 20
【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ	火 4	古本	... 21
【JLCP】日本語能力試験 N1 対策講座	月 2	古本	... 22
【JLCP】日本文学B	木 5	常吉	... 23
【JLCP】日本の伝統文化	月 4	茅田（主）	... 24
【JLCP】茶道	水 1	高木	... 25
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			... 26

2019 年度 前期	曜日・校時	金曜日・2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級 I 会話			
担当教員名	川崎加奈子	e-mail	kawasaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp	
授業到達目標	教科書の会話を発展させ、トピックについて自然な会話ができるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
教科書にある会話の内容を把握した後、ペアやグループで会話を作り、できるだけ自然な会話ができるように練習します。テストはユニット 5 ごとに 3 回あります。				
第 1 週	4/12	オリエンテーション・Part 0		
第 2 週	4/19	Part 1 Unit 1		
第 3 週	4/26	Part 1 Unit 2		
第 4 週	5/10	Part 1 Unit 3		
第 5 週	5/17	Part 1 Unit 4		
第 6 週	5/24	Part 1 Unit 5		
第 7 週	5/31	テスト①		
第 8 週	6/7	Part 2 Unit 6,7		
第 9 週	6/14	Part 2 Unit 8,9		
第 10 週	6/21	Part 2 Unit 10		
第 11 週	6/28	テスト②		
第 12 週	7/5	Part 3 Unit 11,12		
第 13 週	7/12	Part 3 Unit 13,14		
第 14 週	7/19	Part 3 Unit 15		
第 15 週	7/26	テスト③		
教科書・教材等	『にほんご会話上手！』岩田夏穂・初鹿野阿れ著，アスク出版			
成績評価の方法・基準等	テスト①20%，テスト②20%，テスト③20% 授業への参加度（出席・授業態度）20% 宿題 20%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	金曜日・3校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ 作文			
担当教員名	小谷裕子	e-mail	yukoktn@ybb.ne.jp	
授業到達目標	書き言葉で自分の意見を明確に表現できるようになること。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
・ 前回提出された作文のフィードバック				
・ 新トピックの関連語句，文章表現の練習				
・ 関連質問を中心とした口頭練習⇒書く前の準備（作文は宿題）				
第 1 週	4/12	オリエンテーション 原稿用紙の書き方の確認		
第 2 週	4/19	「自己紹介」		
第 3 週	4/26	「私の一週間」		
第 4 週	5/10	「日記」		
第 5 週	5/17	「高校生活」		
第 6 週	5/24	小テスト①		
第 7 週	5/31	「日本での食生活」		
第 8 週	6/7	「日本に来て驚いたこと」		
第 9 週	6/14	「日本での旅行」		
第 10 週	6/21	「もし 1000 万円あたったら」		
第 11 週	6/28	小テスト②		
第 12 週	7/5	「私の国」		
第 13 週	7/12	「私の国の教育」		
第 14 週	7/19	「結婚式」		
第 15 週	7/26	「将来の計画」		
第 16 週	8/2	期末テスト		
教科書・教材等	『日本語作文Ⅰ』（専門教育出版）			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度&態度 20% 課題 30% 小テスト① 15% 小テスト② 15% 期末テスト 20%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	月曜日 1・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級 I 読解			
担当教員名	安田真由美		e-mail	yasuda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
授業到達目標	450 字～600 字程度の長さの文章が読めるようになる。本文中の語彙や文型を理解し、自分で使えるようになる。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
『中級を学ぼう』を使って授業を進めます。3 コマで 1 課を終わるくらいのペースで進めていきます。そして、3 課が終わるごとに復習テストを実施します。				
第 1 週	4/8	オリエンテーション／第 1 課		
第 2 週	4/15	第 1 課		
第 3 週	4/22	第 2 課		
第 4 週	5/13	第 2 課		
第 5 週	5/20	第 3 課		
第 6 週	5/27	第 3 課／第 4 課		
第 7 週	6/3	第 1 課から第 3 課の復習テスト／第 4 課		
第 8 週	6/10	第 4 課		
第 9 週	6/17	第 5 課		
第 10 週	6/24	第 5 課／第 6 課		
第 11 週	7/1	第 6 課		
第 12 週	7/8	第 4 課から第 6 課の復習テスト／第 7 課		
第 13 週	7/16	第 7 課		
第 14 週	7/22	第 8 課		
第 15 週	7/29	第 8 課		
第 16 週	8/5	第 7 課～第 8 課の復習テスト		
教科書・教材等	『中級を学ぼう 中級前期』平井悦子・三輪さち子著，スリーエーネットワーク			
成績評価の方法・基準等	復習テスト（25％×3 回＝75％） 授業への参加度 25％			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90％となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	金曜日・1 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級 I 聴解			
担当教員名	松尾まゆ美	e-mail	mtmym123@gmail.com	
授業到達目標	音声を通して中級の表現法や語彙を学習し、日常会話より一歩進んだ総合的な日本語力を身に付ける。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
現代日本事情を表す様々なトピックを聞くことにより、日本に対する理解を深める。また、使われる場面や状況を理解するとともに、語彙を増やし、総合的な日本語力を高める。				
第 1 週	4/12	オリエンテーション (1) 風呂敷		
第 2 週	4/19	(2) 目の錯覚 (3) 出前はどんなとき何を？		
第 3 週	4/26	(4) 小さなお金の大きな働き (5) ライオンですか、犬ですか？		
第 4 週	5/10	(6) 世界で一番朝が来る国 (7) 子どもの耳		
第 5 週	5/17	(8) 日本人の名字 (9) 100 円ショップ		
第 6 週	5/24	(10) 便利？不便？電子メール (11) じゃんけん		
第 7 週	5/31	(12) あいさつの思わぬ効果		
第 8 週	6/7	(13) 空からの贈り物		
第 9 週	6/14	(14) チンパンジーのアイちゃん		
第 10 週	6/21	(15) だるまさんがころんだ		
第 11 週	6/28	(16) 暖かい色 冷たい色		
第 12 週	7/5	(17) どんなストレスに弱い？		
第 13 週	7/12	(18) こちら 110 番，事件ですか，事故ですか？		
第 14 週	7/19	(19) 「少子化」という言葉		
第 15 週	7/26	(20) 動物占い		
第 16 週	8/2	期末試験		
教科書・教材等	『毎日の聞き取り plus40 (上)』凡人社			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20% 宿題 20% クイズ 30% 試験 30%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	木曜日・2校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級 I 漢字			
担当教員名	渡邊佐智子	e-mail	esperanza@cyber.ocn.ne.jp	
授業到達目標	・日本語中級レベルの漢字 192 文字を習得する。 ・学習漢字を使ったことばを学ぶことで語彙量を増やし、読み・書きの力を養う。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
・中級レベルの漢字について、意味や読み方、書き方について学ぶ。 ・漢字語彙の意味や読み方、使い方について学び、中級レベルの読みものを読む練習をする。 ・毎回、小テストを行い、習得度の確認をする。				
第 1 週	4/11	第 21 課「丸 熱 冷 甘 汚 果 卵 皿 酒 塩 付 片 焼 消 固 小」		
第 2 週	4/18	第 22 課「笑 泣 怒 幸 悲 苦 痛 恥 配 困 辛 眠 残 念 感 情」		
第 3 週	4/25	第 23 課「覚 忘 決 定 比 受 授 徒 練 復 表 卒 違 役 皆 彼」		
第 4 週	5/9	第 24 課「全 部 必 要 荷 由 届 利 払 濯 寝 踊 活 未 宅 祭」		
第 5 週	5/16	第 25 課「平 和 戦 争 政 治 経 済 法 律 際 関 係 義 議 党」		
第 6 週	5/23	第 26 課「遊 泳 疲 暖 涼 静 公 園 込 連 窓 側 葉 景 記 形」		
第 7 週	5/30	復習：第 21 課～26 課		
第 8 週	6/6	中間試験		
第 9 週	6/13	第 27 課「吉 結 婚 共 供 両 若 老 息 娘 奥 将 祖 育 性 招」		
第 10 週	6/20	第 28 課「取 最 初 番 歳 枚 冊 億 点 階 段 号 倍 次 々 他」		
第 11 週	6/27	第 29 課「勝 負 賛 成 絶 対 続 辞 投 選 約 束 守 過 夢 的」		
第 12 週	7/4	第 30 課「飛 機 失 鉄 速 遅 駐 泊 船 座 席 島 陸 港 橋 交」		
第 13 週	7/11	第 31 課「申 神 様 信 調 査 相 談 案 内 君 達 星 雪 降 直」		
第 14 週	7/18	第 32 課「危 険 拾 捨 戻 吸 放 変 齒 髪 絵 横 当 伝 細 無」		
第 15 週	7/25	復習：第 27 課～32 課		
第 16 週	8/1	期末試験		
教科書・教材等	『KANJI LOOK AND LEARN』（The Japan Times） 『KANJI LOOK AND LEARN ワークブック』（副教材）			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度（出席・授業態度・予習・宿題を含む） 20%， 小テスト 20% 定期試験 60%を総合的に評価する。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	水曜日・4 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本裕美	e-mail	furumoto@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題，および身近で個人的に関心がある事について，楽に自信を持って，積極的にかつ詳細に話すことができる。 (2) いろいろなところから集めた情報や議論をまとめ，報告することができる。 (3) 日本人に対し，インタビューをスムーズに行うことができる。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
前半は，シャドーイング練習，ニュースのプレゼン，そして会話練習を繰り返します。後半は，日本人の考えや長崎大学事情を知るためにインタビュー調査を行い，その結果を発表します。				
第 1 週	4/10	オリエンテーション，口頭試験 (1)		
第 2 週	4/17	「ディスカッションする」		
第 3 週	4/24	「人の外見や物に関して詳しく描写・説明する」		
第 4 週	5/8	「事故について詳しく説明する」		
第 5 週	5/15	シャドーイングテスト (1)		
第 6 週	5/22	「雑談する (1-1) カジュアルに話す」		
第 7 週	5/29	「雑談する (1-2) カジュアルに話す」		
第 8 週	6/5	「雑談する (2) 聞き上手になる」		
第 9 週	6/12	シャドーイングテスト (2)，「雑談する (3) 1 つの話題について掘り下げて話す」		
第 10 週	6/19	インタビュー調査・発表	1. 計画，インタビューでの日本語	
第 11 週	6/26		2. インタビューでの日本語&練習，実施	
第 12 週	7/3		3. 調査結果のまとめ	
第 13 週	7/10		4. プレゼンでの日本語&練習，シャドーイングテスト(3)	
第 14 週	7/17		5. プレゼン準備&練習	
第 15 週	7/24		6. プレゼンテーション&ディスカッション	
第 16 週	TBA	口頭試験 (2)		
教科書・教材等		参考『新版 ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』（凡人社）『日本語教師のための日常会話力がグーンとアップする雑談指導のススメ』（凡人社）		
成績評価の方法・基準等		(1) 宿題：25% (2) 口頭試験：10% (3) シャドーイング：15% (4) ニュースのプレゼン：20% (5) インタビュー調査：25% (6) 授業への参加度：5%		
アクセシビリティ		長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考（準備学習等）		私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。		

2019 年度 前期	曜日・校時	水曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	埴田美有紀		e-mail	miyut@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	書き言葉が使えるようになる。自分が伝えたいことを、構成を考えて書けるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
第一部で作文の書き方についての学習をし、第二部で色々なテーマで作文を書きます。作文を書くために必要ないろいろなアイデアを出すため、学生同士で話し合う活動もします。				
第 1 週	4/10	オリエンテーション、自分について書く		
第 2 週	4/17	第Ⅰ部 第 1 課 レポートに使われる文体		
第 3 週	4/24	第Ⅰ部 第 2 課 文の基本 1, 2		
第 4 週	5/8	第Ⅰ部 第 2 課 文の基本 3, 4		
第 5 週	5/15	第Ⅰ部 第 3 課句読点の打ち方, 第 4 課各種の記号の使い方		
第 6 週	5/22	第Ⅰ部 第 5 課 引用のしかた		
第 7 週	5/29	第Ⅰ部 試験		
第 8 週	6/5	第Ⅱ部 第 1 課 段落		
第 9 週	6/12	第Ⅱ部 第 2 課 仕組みの説明		
第 10 週	6/19	第Ⅱ部 第 4 課 分類		
第 11 週	6/26	第Ⅱ部 第一回試験		
第 12 週	7/3	第Ⅱ部 第 5 課 定義		
第 13 週	7/10	第Ⅱ部 第 7 課 比較・対照		
第 14 週	7/17	第Ⅱ部 第 8 課 因果関係		
第 15 週	7/24	第Ⅱ部 第 10 課 資料の利用		
第 16 週	7/31	第Ⅱ部 第二回試験		
教科書・教材等	『改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』 二通信子・佐藤不二子 スリーエーネットワーク			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 10%, 提出物 15%, 第Ⅰ部試験 25%, 第Ⅱ部第一回試験 25%, 第Ⅱ部第二回試験 25% 出席が 2/3 以下の場合成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。 提出物は締め切りまでに提出したら 1 点, 締め切りから一週間以内は 1/2 点, 一週間以上遅れたら 0 点です。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行, 家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習, 研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	木曜日 2・3 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級Ⅱ 読解			
担当教員名	松本久美子	e-mail	Kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	現代日本社会について書かれた様々な文章を読むことで、日本社会に対する知識を得る。 また、語彙や表現等を増やし、中級後期レベルの文章を正確に読める力をつけることを目標とする。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
基本的に予習を前提に教科書に沿って授業を進めます。必ず予習して授業に来てください。また課毎に応用読解と文法の宿題があります。授業後半は前半の学習状況に応じて、「小説」か「N2 読解文」を加えます。				
	月/日	2 校時	月/日	3 校時
第 1 回	4/11	オリエンテーション	4/11	第 1 課：色
第 2 回	4/18	第 1 課：色	4/18	第 1 課・応用読解
第 3 回	4/25	第 2 課：ユーモア・ジョーク	4/25	第 2 課：ユーモア・ジョーク
第 4 回	5/9	第 3 課：制服	5/9	第 3 課：制服
第 5 回	5/16	第 4 課：算数	5/16	第 4 課：算数
第 6 回	5/23	第 5 課：遊びと運動	5/23	第 5 課：遊びと運動
第 7 回	5/30	第 6 課：お金	5/30	第 6 課：お金
第 8 回	6/6	テスト①：1 課～5 課	6/6	応用読解
第 9 回	6/13	第 7 課：水	6/13	第 7 課：水
第 10 回	6/20	第 8 課：遺伝	6/20	第 8 課：遺伝
第 11 回	6/27	第 8 課：遺伝	6/27	第 9 課：漫画・アニメ・本
第 12 回	7/4	第 9 課：漫画・アニメ・本	7/4	第 9 課：漫画・アニメ・本
第 13 回	7/11	第 10 課：人と動物	7/11	第 10 課：人と動物
第 14 回	7/18	月曜日の授業	7/18	第 10 課：人と動物
第 15 回	7/25	応用読解	7/25	応用読解
教科書・教材等	『中級を学ぼう：日本語の文型と表現 82, 中級中期』スリーエーネットワーク			
成績評価の方法・基準等	a. 授業への参加度 10% b. 宿題 10% c. テスト 80%（テスト① 40%・テスト②40% ）			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc. 専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	金曜日・2校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	小谷裕子	e-mail	yukoktn@ybb.ne.jp	
授業到達目標	ナチュラルスピードの音声から必要情報を的確に拾うことができる。聞き取った内容を正確に理解し、自分の言葉で再表現できる。また、表記することができる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
様々な分野のニュース等を聞くことにより正確な聴解力を向上させるとともに、語彙力・表現力を高める。 また、日本社会とその抱える問題について理解を深める。				
第1週	4/12	オリエンテーション / plus 40 ㊦ (21) 回転寿司		
第2週	4/19	(23) 名前の無い手紙		
第3週	4/26	(24) あなたの成績は朝ごはん次第 / ビデオ『乱れた子どもの食生活』		
第4週	5/10	(26) いちばん上の子は神経質？		
第5週	5/17	(27) 結婚するなら年上？年下？		
第6週	5/24	(28) 太鼓の響き		
第7週	5/31	(29) 睡眠不足じゃありませんか		
第8週	6/7	中間試験		
第9週	6/14	(30) お菓子のおまけ		
第10週	6/21	(31) 進化するロボット		
第11週	6/28	(33) 日本を知らない日本人		
第12週	7/5	(35) 若い登山家 / ビデオ『私が子どもだった頃：野口健』		
第13週	7/12	(38) 屋上の緑化		
第14週	7/19	(36) 変化する就職事情		
第15週	7/26	(39) 英語力や資格は必要ですか / 総まとめ / 学生による授業評価		
第16週	8/2	期末試験		
注) 主教材の聴解に要する時間により、適宜副教材及びニュース等を使用して時間調整を行う。				
教科書・教材等	『毎日の聞き取り plus 40 ㊦』凡人社（主教材） 日本語能力試験N2聴解関連教材（副教材）			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20％， 態度 10％ 小テスト 20％ 中間試験 20％， 期末試験 30％			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90％となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	水曜日・2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ 漢字			
担当教員名	岩下真澄	e-mail	masumi430@icloud.com	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に合った漢字語彙が使えるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
各課18～19字の新しい漢字を学びます。翌週、小テストがあります。				
その課で学んだ漢字を使ったグループワークを行い、漢字語彙の使い方を学びます。				
毎回宿題があります。かならず宿題をしてから、授業に参加してください。				
第 1 週	4/10	オリエンテーション		
第 2 週	4/17	1 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 3 週	4/24	2 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 4 週	5/8	3 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 5 週	5/15	4 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 6 週	5/22	テスト（1）1 課～4 課		
第 7 週	5/29	5 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 8 週	6/5	6 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 9 週	6/12	7 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 10 週	6/19	8 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 11 週	6/26	テスト（2）5 課～8 課		
第 12 週	7/3	9 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 13 週	7/10	10 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 14 週	7/17	11 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 15 週	7/24	12 課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」		
第 16 週	7/31	テスト（3）9 課～12 課		
教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 超級編』 藤田佐和子著 ココ出版			
成績評価の方法・基準等	課題 15%、 小テスト 20%、テスト（1）15%、テスト（2）20%、テスト（3）30%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	木曜日・1 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】中級総合 B			
担当教員名	埴田美有紀		e-mail	miyut@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	未知の文章に出会ったとき内容を把握し読み進めることができるようになる。文章について自分の見方や視点を獲得し、表現できるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
この授業では予習が前提です。各課の文章を読み、内容を把握して授業に出てください。				
第 1 週	4/11	オリエンテーション		
第 2 週	4/18	第 1 課 内容確認，発展問題		
第 3 週	4/25	第 2 課 内容確認，発展問題		
第 4 週	5/9	第 3 課 内容確認，発展問題		
第 5 週	5/16	第 4 課 内容確認，発展問題		
第 6 週	5/23	第 5 課 内容確認，発展問題		
第 7 週	5/30	第 6 課 内容確認，発展問題		
第 8 週	6/6	第 6 課 発表		
第 9 週	6/13	第 7 課 内容確認，発展問題		
第 10 週	6/20	第 8 課 内容確認，発展問題		
第 11 週	6/25	第 9 課 内容確認，発展問題		
第 12 週	7/4	第 10 課 内容確認，発展問題		
第 13 週	7/11	第 11 課 内容確認，発展問題		
第 14 週	7/18	第 13 課 内容確認，発展問題		
第 15 週	7/25	第 13 課 発表		
教科書・教材等	『話す・書くにつながる 日本語読解 初中級』小野恵久子 他著，アルク			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 10%，内容把握の問題 10%，発展問題の課題 12×5％＝60%， 発表 2×10％＝20％ 出席が 2/3 以下の場合は成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90％となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	火曜日 1・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅰ読解			
担当教員名	松尾まゆ美	e-mail	mtmym123@gmail.com	
授業到達目標	意見文や説明文など、まとまった長さの文章を理解できる。また文意をとらえるだけでなく、他者と意見交換をしながら思慮を深め、日本語表現能力を高める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
1. 意見文、説明文などまとまった長さの文を読み、内容を理解する。				
2. 文法や語彙、漢字を学び、使えるように練習する。				
3. 作文、発表などで学んだことを使い、自分の伝えたいことを表現する。				
第1週	4/16	オリエンテーション Unit1「自己紹介と本当の自分」		
第2週	4/23	Unit1「自己紹介と本当の自分」		
第3週	5/7	Unit3「ジェンダーを考える」		
第4週	5/14	Unit3「ジェンダーを考える」		
第5週	5/21	Unit4「ことばと文化」		
第6週	5/28	Unit4「ことばと文化」		
第7週	6/4	Unit5「心と体のバランス」		
第8週	6/11	Unit5「心と体のバランス」		
第9週	6/18	Unit6「働くということ」		
第10週	6/25	Unit6「働くということ」		
第11週	7/2	Unit8「環境のためにできること」		
第12週	7/9	Unit8「環境のためにできること」		
第13週	7/23	Unit9「食の共同性」		
第14週	7/30	Unit9「食の共同性」		
第15週	8/6	Unit10「笑いのちから」		
教科書・教材等	『新 中級から上級への日本語』（The Japan Times）			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 30% 各回のクイズ 40% 提出物 30%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	月曜日 5 校時・木曜日 3 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級 I 総合			
担当教員名	永井智香子		e-mail	nagai@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	1. 長崎に関連のあるテレビ番組を教材として視聴することを通じて、日本語の語彙を増やす。 2. 長崎に関連のあるテレビ番組を教材として視聴することを通じて、現在住んでいる長崎についての知識を得る。 3. 日本映画を教材として視聴することを通じて、日本語の語彙を増やす。 4. 日本映画を教材として視聴することを通じて、日本社会や日本文化について知る。			
授業概要／毎週の授業内容を含む。				
月曜クラスは長崎に関連のあるテレビ番組を教材として使います。最後に 1 回発表があります。 木曜クラスは日本映画を教材として使います。1回発表があります。				
第 1 週	4/8	月曜クラスオリエンテーション	4/11	木曜クラスオリエンテーション
第 2 週	4/15	映画 1 前半視聴	4/18	長崎関連テレビ番組視聴
第 3 週	4/22	映画 1 後半視聴,	4/25	小テスト長崎関連テレビ番組視聴
第 4 週	5/13	映画 1 発表	5/9	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 5 週	5/20	映画 2 前半視聴	5/16	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 6 週	5/27	映画 2 後半視聴	5/23	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 7 週	6/3	映画 2 発表	5/30	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 8 週	6/10	映画 3 前半視聴	6/6	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 9 週	6/17	映画 3 後半視聴	6/13	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 10 週	6/24	映画 3 発表	6/20	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 11 週	7/1	映画 4 前半視聴	6/27	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 12 週	7/8	映画 4 後半視聴	7/4	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 13 週	7/16	映画 4 発表	7/11	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 14 週	7/22	映画 5 前半視聴	7/18	小テスト, 長崎関連テレビ番組視聴
第 15 週	7/29	映画 5 後半視聴	7/25	発表
教科書・教材等	プリント教材			
成績評価の方法・基準等	月曜クラスと木曜クラスはそれぞれ別々に 100 点満点で評価します。その平均点がこのクラスの評価となります。詳しくはオリエンテーションで示します。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行, 家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習, 研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	火曜日 2・5 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅱ 総合 C			
担当教員名	永井智香子	e-mail	nagai@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	1. 主に日本の高度経済成長期に関連のあるテレビ番組を教材として視聴することを通じて、日本語の語彙を増やす。 2. 日本の高度経済成長期に造られたものとその進化について知識を得る。 3. さまざまな分野で功績を残した日本人について知る。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
毎回視聴するビデオは 2 校時目に前半を 5 校時目に後半を視聴します。				
第 1 週	4/9	オリエンテーション ウォーミングアップ		
第 2 週	4/16	その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 3 週	4/23	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 4 週	5/7	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 5 週	5/14	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 6 週	5/21	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 7 週	5/28	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 8 週	6/4	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 9 週	6/11	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 10 週	6/18	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 11 週	6/25	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 12 週	7/2	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 13 週	7/9	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 14 週	7/23	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
第 15 週	7/30	小テスト その日のトピックについて意見交換 語彙の確認 番組視聴 内容の確認		
教科書・教材等	プリント教材			
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み、小テスト、最終レポートで評価します。 詳しくは初日のオリエンテーションで示します。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	木曜日 3・4 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅱ 総合 D			
担当教員名	溝部エリ子	e-mail	erico27@nifty.com	
授業到達目標	抽象度の高い素材から獲得した情報を基に日本語の知識を活用し，課題遂行のための日本語能力の構築を図っていきます。客観的視点から主張を表現できる包括的コミュニケーション能力の育成を目指します。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
多様な「読む・聴く」素材を用い，「話す・書く」へ繋がる総合的日本語運用能力をピア・ラーニングによって学んでいきます。				
第 1 週	4/11	オリエンテーション・アンケート・自己評価・自己紹介		
第 2 週	4/18	K J 法から学ぶ日本語		
第 3 週	4/25	ケーススタディ 1		
第 4 週	5/9	うたから学ぶ日本語 1・メール		
第 5 週	5/16	ケーススタディ 2		
第 6 週	5/23	うたから学ぶ日本語 2・ストーリーテリング		
第 7 週	5/30	プレゼンテーション 1		
第 8 週	6/6	J L P T より（文字・語彙）・MEMO		
第 9 週	6/13	J L P T より（聴解）小テスト 1		
第 10 週	6/20	J L P T より（文法）小テスト 2		
第 11 週	6/27	J L P T より（読解）小テスト 3		
第 12 週	7/4	質問紙法（アンケート）・小テスト 4		
第 13 週	7/11	ケーススタディ 3・インフォーマルとフォーマル+敬語		
第 14 週	7/18	うたから学ぶ日本語 3		
第 15 週	7/25	プレゼンテーションの準備・総まとめ		
第 16 週	8/1	最終プレゼンテーション+期末テスト		
教科書・教材等	ハンドアウト			
成績評価の方法・基準等	授業参加度 30% 小テスト 20%・レポート（HW） 10% プレゼンテーション 30%・期末テスト 10%			
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	基本的に事前準備は，必要ありませんが，指示をした場合は，事前準備を行ってください。ただし，授業後の復習は必ず行い，語彙を増やすことに努めてください。 評価は上記の合計で行いますので，やむを得ず欠席をする場合は，事前にお知らせください。後日，小テストなど，実施してもらいます。			

2019 年度 前期	曜日・校時	月曜日・1校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（文化について考える）			
担当教員名	埴田美有紀		e-mail	miyut@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	文化についての自分の考えを説明できるようになる。他者の文化観を理解する。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
三つの読み物を手掛かりに文化について議論し、レポート作成を行い、自分の意見をまとめて発表をします。				
第1週	4/8	オリエンテーション		
第2週	4/15	意見文の書き方		
第3週	4/22	意見交換のしかた		
第4週	5/13	読解①内容確認，意見交換		
第5週	5/20	読解①意見交換		
第6週	5/27	読解②内容確認，意見交換		
第7週	6/3	読解②意見交換		
第8週	6/10	読解③内容確認，意見交換		
第9週	6/17	読解③意見交換		
第10週	6/24	三つの考え方について意見交換		
第11週	7/1	自分の考え方について意見交換		
第12週	7/8	下書き意見交換		
第13週	7/16※	休講		
第14週	7/22	完成版互評価		
第15週	7/29	まとめの発表①		
第16週	8/5	まとめの発表②		
※火曜日ですが，月曜日の授業をする日です。				
教科書・教材等	4月8日に渡します。			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度5%，読解ワークシート3×5％＝15%，意見ワークシート5×10％＝50%， 下書き2×5％＝10%，完成版2×5％＝10%，発表10％ 出席が2/3以下の場合は成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。			
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	火曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（文学で学ぶ日本文化）			
担当教員名	中村桂子	e-mail	nenecha_n@yahoo.co.jp	
授業到達目標	(1) 上級レベルの文章を正確に理解できるようになる。 (2) 文章が書かれた背景を理解し、自他の文化の違い、自分の考えをまとめて文章にまとめられるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
基本的に予習を前提にし、授業で本文の内容・文型などを理解した後、まとめとして各自の意見を発表したり、文章にまとめたりしていきます。毎回、文章を書く課題が出ます。				
第 1 週	4/9	オリエンテーション, 1. 途中下車		
第 2 週	4/16	1. 途中下車		
第 3 週	4/23	2. 愛情としつけ		
第 4 週	5/7	2. 愛情としつけ		
第 5 週	5/14	3. 贈るかたちと意味		
第 6 週	5/21	3. 贈るかたちと意味		
第 7 週	5/28	4. 鞆		
第 8 週	6/4	4. 鞆		
第 9 週	6/11	5. 平成おとぎ話		
第 10 週	6/18	5. 平成おとぎ話		
第 11 週	6/25	6. 「主人」から「夫」へ		
第 12 週	7/2	6. 「主人」から「夫」へ		
第 13 週	7/9	7. 安楽死ということば		
第 14 週	7/23	7. 安楽死ということば		
第 15 週	7/30	8. わすれ傘		
第 16 週	8/6	8. わすれ傘		
教科書・教材等	『上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む』（公）京都日本語教育センター著、アルク出版 より抜粋したものをコピー配布します。			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度（出席・態度）40％ 課題・提出物 40％ 小テスト 20％			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90％となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	水曜日・2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（留学生ビジネス研究）			
担当教員名	松島大輔	e-mail	Daisuke-matsushima@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	① 日本理解に向けた実践的アプローチの習得 ② 日本と仕事をする場合、或いは就職する場合の日本ビジネス知識（一般常識） ③ 日本語運用能力（ビジネス日本語の基礎と表現力）の確保			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
日本の経済社会と母国との文化的、社会的、経済的ギャップに着目し、その内容を明らかにするメソッドとアウトプットを求めます。そのため、実際に調査した内容を踏まえて発表し、意見交換を行うことで、母国をものさしにした日本の経済社会の現状を扱います。				
第 1 週	4/10	ガイダンス～日本の経済社会とビジネス		
第 2 週	4/17	日本と母国との比較に関する方法論		
第 3 週	4/24	具体的な調査とその方法		
第 4 週	5/8	発表 1		
第 5 週	5/15	発表 2		
第 6 週	5/22	発表 3		
第 7 週	5/29	発表 4		
第 8 週	6/5	発表 5		
第 9 週	6/12	中間レビュー		
第 10 週	6/19	発表 1		
第 11 週	6/26	発表 2		
第 12 週	7/3	発表 3		
第 13 週	7/10	発表 4		
第 14 週	7/17	発表 5		
第 15 週	7/24	まとめ		
教科書・教材等	『空洞化のウソ』, その他必要に応じて資料を配付			
成績評価の方法・基準等	授業参加 10% 発表 30% レポート 60%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	[2Q] 火曜日・1 校時 [2Q] 木曜日・1 校時	コマ数	週 2 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（日本語小論文入門）			
担当教員名	松村真樹	e-mail	masaki@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	日本の大学入学試験等で出題される小論文問題を素材に、現代日本社会のさまざまな局面や課題について適切な日本語で説明し、自分の考えを効果的に述べるために必要な文章力及び論文構成力の向上を目標とする。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
毎回、当該テーマに関する400字の小論文を書かせる。加えて、効果的な小論文を書くための技能について講義する。				
第 1 週	6/11	文章を書くための基礎知識		
第 1 週	6/13	そもそも小論文って？～ 何が問われているか		
第 2 週	6/18	小論文の構成及び文体について		
第 2 週	6/20	メモの取り方 ～ 自分の考えをどうまとめるか		
第 3 週	6/25	課題文のある小論文 ～ 何を読み取るべきか（要約の方法）		
第 3 週	6/27	課題文の要約を伴う小論文 1		
第 4 週	7/2	課題文の要約を伴う小論文 2		
第 4 週	7/4	課題文の要約を伴う小論文 3		
第 5 週	7/9	課題文の要約を伴う小論文 4		
第 5 週	7/11	図表を説明する小論文 1		
第 6 週	7/18	図表を説明する小論文 2		
第 7 週	7/23	図表を説明する小論文 3		
第 7 週	7/25	図表を説明する小論文 4		
第 8 週	7/30	賛成か反対かを述べる小論文 1		
第 8 週	8/1	賛成か反対かを述べる小論文 2		
教科書・教材等	コピーを配布する。			
成績評価の方法・基準等	授業中に書いて提出する課題小論文の合計（100％）			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	授業を欠席して当日の課題小論文を提出できなかった場合は、担当教員又は他の受講生からその課題に関する情報を入手して、次回の授業までに同じ課題を提出すること。提出しなかった課題の配点は最終得点に加算されないので注意するように。			

2019 年度 前期	曜日・校時	火曜日・4 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ			
担当教員名	埴田美有紀		e-mail	miyut@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	日本語と文化や社会の関係について、深く理解することができる。			
授業概要／毎週の授業内容を含む				
日本語と日本文化や日本社会との関係についての講義を理解し、グループで研究テーマを決める。翌週、中間発表と発表準備を行う。3週目にグループで発表を行う。				
第 1 週	4/9	オリエンテーション，研究・調査のしかた①		
第 2 週	4/16	研究・調査のしかた②		
第 3 週	4/23	グループ活動のしかた，発表のしかた		
第 4 週	5/7	テーマ①講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）		
第 5 週	5/14	テーマ①中間発表，グループ活動（発表準備）		
第 6 週	5/21	テーマ①グループ発表		
第 7 週	5/28	テーマ②講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）		
第 8 週	6/4	テーマ②中間発表，グループ活動（発表準備）		
第 9 週	6/11	テーマ②グループ発表		
第 10 週	6/18	テーマ③講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）		
第 11 週	6/25	テーマ③中間発表，グループ活動（発表準備）		
第 12 週	7/2	テーマ③グループ発表		
第 13 週	7/9	テーマ④講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）		
第 14 週	7/23	テーマ④中間発表，グループ活動（発表準備）		
第 15 週	7/30	テーマ④グループ発表		
<注意>7/16 は火曜日ですが，月曜日の授業をする日なので，火曜日の授業はありません。				
教科書・教材等	4 月 9 日に渡します。			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 5％ 中間発表 5％×4＝20％ 発表 15％×4＝60％ 発表練習課題 5％×3＝15％ 出席が 2/3 以下の場合は成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。			
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90％となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	火曜日・4 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅱ			
担当教員名	古本裕美	e-mail	furumoto@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	(1) 自他の文化、考え、言語への理解を深める。 (2) 身近な話題について、クラスメイトと話し合いながら、そこに見られる課題を主体的に考え、解決できるようになる。 (3) ICT を使って、効果的なプレゼンテーションや情報伝達ができるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
プロジェクト①では、長崎大学内で「日本語 café」を企画・運営します。プロジェクト②では、長崎大学に新しく来る留学生のために、動画を作ります。これらのプロジェクトを通し、留学生の視点で長崎・日本を考え、より良くするための提案をします。				
第 1 週	4/9	オリエンテーション		
第 2 週	4/16	e-mail の書き方・レポートの書き方		
第 3 週	4/23	ケーススタディ①「寮生活はどうですか」		
第 4 週	5/7	ケーススタディ②「サークルに入りましたか」		
第 5 週	5/14	日本語 café プロジェクト：説明・内容理解		
第 6 週	5/21	Step1 計画		
第 7 週	5/28	Step2 中間発表・作業(1)		
第 8 週	6/4	ケーススタディ③「友達はできましたか」		
第 9 週	6/11	ケーススタディ④「異なりを考える」		
第 10 週	6/18	ケーススタディ⑤「言語間の平等を考える」		
第 11 週	6/25	日本語 café プロジェクト Step3 プレゼン準備		
第 12 週	7/2	Step4 プレゼン&総評		
第 13 週	7/9	長大紹介プロジェクト：説明・内容理解・計画		
第 14 週	7/23	Step1 作業		
第 15 週	7/30	Step2 プレゼン&総評		
教科書・教材等	参考：『留学生のためのケースで学ぶ日本語：問題発見解決能力を伸ばす』（宮崎七湖他，ココ出版）『多文化社会で多様性を考えるワークブック』（有田佳代子他，研究社）			
成績評価の方法・基準等	(1) プロジェクト①：60% (2) プロジェクト②：15% (3) e-mail の宿題：5% (4) ワークシートの宿題：5% (5) 授業への参加度：15%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	月曜日・2校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本語能力試験 N1 対策講座			
担当教員名	古本裕美	e-mail	furumoto@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	(1) 「日本語能力試験」の問題形式に慣れること。 (2) 日本語の言語・知識、読解力、聴解力をそれぞれ伸ばすこと。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
「文字・語彙、文法」については、ラーニング・ステーションで、いろいろな方法でクラスメイトと助け合いながら意味や用法を学びます。「聴解」と「読解」については、日本語学習者が苦手な問題形式を中心に学びます。				
第1週	4/8	オリエンテーション、JLPT の概要と練習		
第2週	4/15	「聴解問題」の練習 (1)		
第3週	4/22	「読解問題」の練習 (1)		
第4週	5/13	「文法問題」の練習 (1)		
第5週	5/20	「文字・語彙問題」の練習 (1)		
第6週	5/27	テスト		
第7週	6/3	「聴解問題」の練習 (2)		
第8週	6/10	「読解問題」の練習 (2)		
第9週	6/17	「文法問題」の練習 (2)		
第10週	6/24	「文字・語彙問題」の練習 (2)		
第11週	TBA	模擬試験 (1)		
第12週	TBA	模擬試験 (1) と復習		
第13週	TBA	模擬試験 (2)		
第14週	TBA	模擬試験 (2) と復習		
第15週	7/29	復習、授業評価		
教科書・教材等	配布資料			
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題 10% (2) クイズ 40% (3) テスト&模擬試験 30% (4) 授業への参加度 20%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	木曜日・5 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本文学 B			
担当教員名	常吉幸子	e-mail	tzuneyoshi@kwassui.ac.jp	
授業到達目標	日本の主として明治維新以降の短詩形文学にふれることで、日本語のニュアンスや表現の一端に触れ、それぞれの受講生の日本語における表現力をゆたかにして欲しい。実作を楽しめるところにみなさんを連れて行くことを目標とする。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
日本の近代化と国語革新を、韻文ー日本の短詩形文学名作を読み味わいつく実感し、楽しんでもらいたい。日本の短詩形文学は、もっとも参加しやすい日本文学、といえる。やさしい表現の作品も多い。留学生のみなさんには、そのことばのあじわいやニュアンスを読みとるとともに、「実作」に挑戦してほしい。気負わずに。				
第 1 週	4/11	正岡子規の「写生」の連作。		
第 2 週	4/18	与謝野晶子の『みだれ髪』とロマン主義。		
第 3 週	4/25	石川啄木の「哀傷歌」と 4 拍子のリズム。		
第 4 週	5/9	若山牧水の「悲しみ」のメロディー。		
第 5 週	5/16	高村光太郎『智恵子抄』		
第 6 週	5/23	中原中也とダダイズム → シュールレアリスム		
第 7 週	5/30	俵万智とサザンオールスターズ		
第 8 週	6/6	「旅」の歌 万葉集から現代まで		
第 9 週	6/13	「酒」の歌と都々逸（どどいつ）		
第 10 週	6/20	「死」を歌う ー超えられない地平線のむこうがわー		
第 11 週	6/27	「桜」の歌 ー日本文化の根源的秘蔵ー		
第 12 週	7/4	現実と社会問題を題材とする歌		
第 13 週	7/11	オノマトペの挑戦 ー「通じる」ための共通基盤ー		
第 14 週	7/18	「恋」の歌 ー万葉集から現代までー		
第 15 週	7/25	レポート作成指導。歌集・句集編集指導。		
第 16 週	8/1	レポート・作品集の提出。（できれば発表会をしたい）		
教科書・教材等	ハンドアウト			
成績評価の方法・基準等	出席 30% 授業参加と創作 20% レポート・歌集・句集 50%			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	月曜日・4校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本の伝統文化			
担当教員名	茅田美有紀（主）		e-mail	miyut@nagasaki-u.ac.jp
授業到達目標	日本の伝統文化についての講義を聞き，体験することにより，日本文化への理解を深める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
(和室) と書いてある日は，和室で授業をします。和室の場所は，オリエンテーションで説明します。				
第1週	4/8	オリエンテーション，長崎について	茅田美有紀	
第2週	4/15	講義 1 異文化交流	大坪喜子	
第3週	4/22	講義 2 日本人の気質（武士道，礼儀など）	林 邦昭	
第4週	5/13	講義 3 水琴窟と音の文化	後藤信行	
第5週	5/20	講義 4 長崎の豪雨と台風	荒生公雄	
第6週	5/27	講義 5 水との暮らし；長崎	野口正人	
第7週	6/3	講義 6 日本語の敬意表現，態度	山本建雄	
第8週	6/10	日本舞踊①（和室）		
第9週	6/17	日本舞踊②（和室）		
第10週	6/24	日本舞踊③（和室）		
第11週	7/1	華道①		
第12週	7/8	華道②		
第13週	7/16※	華道③		
第14週	7/22	着物（和室）		
第15週	7/29	「私の見た長崎」発表		
※火曜日ですが，月曜日の授業をする日です。				
教科書・教材等	必要に応じて配布			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 25％ 講義レポート 25％ 文化体験レポート 25％ 発表 25％ 出席が 2/3 以下の場合は成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。			
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90％となる。			

2019 年度 前期	曜日・校時	水曜日・1 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLPT】茶道			
担当教員名	高木裕子	e-mail	h-takagi@khh.biglobe.ne.jp	
授業到達目標	茶道の習得を通して、日本の伝統文化を理解、知ろうとする心を持つ			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
裏千家茶道の入門実技を通して、茶道具だけでなく、着物、茶花、書なども学びます。学期末には、生徒たちで茶会を開く事を目指します。				
第 1 週	4/10	オリエンテーション、自己紹介、茶道の歴史について		
第 2 週	4/17	茶のいただき方と茶道具の説明		
第 3 週	4/24	お菓子の食べ方とふくさ捌きの練習		
第 4 週	5/15	茶道具の清め方と茶を点てる練習		
第 5 週	5/22	茶会についての説明、点前の練習①		
第 6 週	5/29	茶会の計画と役割分担、点前の練習②		
第 7 週	6/5	茶会のお菓子を検討、点前の練習③		
第 8 週	6/12	茶会を想定した点前の練習④		
第 9 週	6/26	茶会を想定した点前の練習⑤		
第 10 週	7/3	茶会のリハーサル		
第 11 週	7/9	茶会の準備		
第 12 週	7/10	茶会を開催		
第 13 週	7/10	茶会を開催		
第 14 週	7/14	茶会を体験しに学外授業		
第 15 週	7/17	まとめ、道具の整理		
教科書・教材等	こちらですべて準備します。			
成績評価の方法・基準等	出席 100%，但し、茶会への出席は必須とします。 (欠席は 3 回まで、4 回欠席すると単位は認めません)			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）により、茶会への出席がない場合は、追試を認めません。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により、茶会に出席できない場合は、後日、茶会体験等を実施しますが、その場合、点数は獲得点数の 90%となります。			

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通参照枠) のレベル
初級Ⅰ	初級 前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級 後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級 後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級 前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。	N1	C1 C2
上級Ⅱ	上級 後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。		

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ	(5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ 読解	(2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅰ 読解	(2 単位, 週 2 コマ)
初級Ⅱ	(5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ 聴解	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅰ 総合	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅰ 会話	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ 総合 A	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅰ 作文	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ 総合 B	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅰ 漢字	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ 総合 C	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅱ 読解	(2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅱ 総合 D	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅱ 聴解	(1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座	(1 単位, 週 1 コマ)
		中級Ⅱ 会話	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級Ⅱ 作文	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級Ⅱ 漢字	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級総合 A	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級総合 B	(1 単位, 週 1 コマ)		

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新)